

各 位

会社名 日本曹達株式会社
 代表者名 取締役社長 井上 克信
 (コード番号 4041 東証第1部)
 問合せ先 総務部長 小沢 史比古
 (TEL. 03-3245-6240)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年8月4日の「平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況」発表時に公表した、平成19年3月期中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期中間期 連結業績予想の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
(平成18年8月4日付) 前回発表予想 (A)	66,000	700	800	0
今回修正予想 (B)	65,700	1,700	1,900	140
増減額 (B-A)	△ 300	1,000	1,100	140
増減率 (%)	△ 0.5	142.9	137.5	—
【ご参考】前中間期実績 (平成18年3月期中間期)	65,628	△ 283	△ 541	△ 7,372

2. 平成19年3月期中間期 個別業績予想の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
(平成18年8月4日付) 前回発表予想 (A)	34,000	△ 700	△ 300	△ 500
今回修正予想 (B)	34,200	150	580	△ 60
増減額 (B-A)	200	850	880	440
増減率 (%)	0.6	—	—	—
【ご参考】前中間期実績 (平成18年3月期中間期)	35,277	△ 2,141	△ 2,053	△ 8,866

3. 業績予想の修正（連結・個別）の理由

- (1) 売上高につきましては、「化学品事業」において医薬品の一部に出荷の遅れが生じましたが、半導体フォトリソ材料「VPポリマー」が伸長するとともに、「農業化学品事業」において「ナブ」などの除草剤が増収となったことなどから、前回発表予想並となる見通しであります。
- (2) 損益につきましては、子会社にて減損損失を特別損失に計上いたしました。主に固定費・経費の削減が進展したことなどにより、営業利益、経常利益、中間純利益のいずれも前回発表予想を上回る見通しであります。
- (3) なお、通期の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直しを行う予定であります。

[注記事項]

上記の見通しは、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なることがあります。

以上